



SDGs 未来都市に選定 大崎市

～「宝の都（くに）・大崎」の実現に向けた
持続可能な田園都市の創生～

(R4年5月)

サステナブル ディベロップメント ゴールズ

SDGs (Sustainable Development Goals) とは？

持続可能な開発目標という意味で、「誰一人取り残さない」持続可能で、よりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。17のゴール、169のターゲットから構成されています。



17

自治体SDGsモデル事業 3側面

宝の都(くに)・おおさき・宮城の大崎市

大崎耕土GIAHSを核とした持続可能な地域社会づくり



18

大崎耕土の基盤を支える 多面的機能支払交付金事業



R4年度	組織数	交付額 (円)	取組面積 (ha)
全体 合計	150	486,419	10,287
農地維持	150	304,004	
資源向上 (共同)	101	127,537	
資源向上 (長寿命化)	36	54,878	

19

水田農業・実践1 ササ系の復権 『ささ結』のブランド化

ササニシキ発祥の大崎から、ササ系復権を！

～2023年はササニシキ生誕60周年～

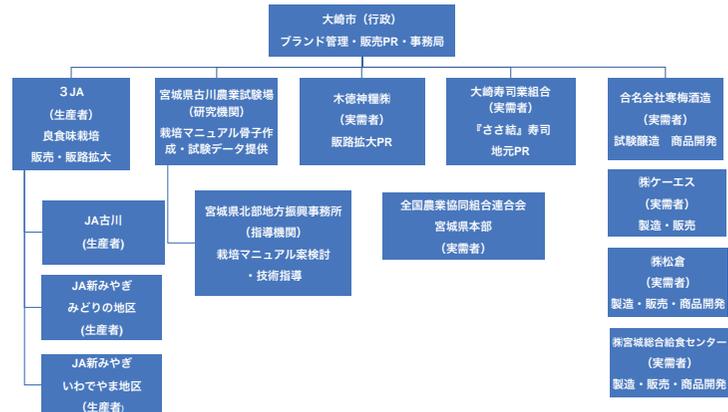
- ササニシキ直系「東北194号」の活用
(ササニシキの食味と、ひとめぼれの栽培の強さ)
⇒厳しい基準によるブランド化「ささ結」
- 栽培講習&ブランド推進研修
⇒高品質の米づくりへ、技術と意識の向上
- コシ系と一線を画す、本質デザインで勝負
⇒消費者に訴える、シンプルなデザイン
- ブランド米の高価格販売の実現
⇒農業収益の拡大



20

水田農業・実践1 ササ系の復権 『ささ結』のブランド化

大崎の米『ささ結』ブランドコンソーシアム 設立・推進



21

水田農業・実践1 ササ系の復権 『ささ結』のブランド化

『ささ結』ブランド認証基準

①環境配慮

- 2JA生産販売に関しては、環境保全米基準の栽培（農薬・肥料は、各JA単位で決める。）
- JA以外の生産については、県認証基準（減減以上）の栽培

②食味配慮

- 追肥なしでの栽培（土づくりが基本）
- 玄米のタンパク含有率6.5%以下（2JA⇒最新の高性能食味分析計を導入）

③生物多様性配慮

「大崎耕土」世界農業遺産ブランド認証
田んぼの生きものモニタリング



22

水田農業・実践1 ササ系の復権 『ささ結』のブランド化

仙台圏消費者との田植え稲刈り交流 & ささ結新米フェア



体験交流 & 地産地消

23

水田農業・実践1 ササ系の復権 『ささ結』のブランド化

六次化・地域連携での商品化



24

水田農業・実践1 ササ系の復権 『ささ結』のブランド化

全国ササニシキ系『ささ王』決定戦 究極のササ系を目指す！



ささ
王
2020
プレミアム
5
ささ結
マイク

25

水田農業・実践1 ササ系の復権 『ささ結』のブランド化

H30年11月 内閣官房・農林水産省主催「ディスカバー農山漁村 (むら) の宝」 東北ブロック第1位で選定証を授与
R 4年2月 「食材王国みやぎ」ブランド化部門で大賞



適地適作 26
多様な品種・多様な米づくりは大切！

【山間地域】鳴子 山間地の農業持続への挑戦



山ふところの鳴子温泉郷は、約1,000年前開湯で
国民保養温泉地に指定

一方、標高450mで、冷たい水のかかり、
米づくりに関しては、厳しい環境

27

鳴子の米プロジェクト

～CSA (Community Supported Agriculture)～



その環境下で「鳴子の米プロジェクト」が行われ、生産者と消費者と一緒に農業を考え、
支える、CSAという地域支援型農業を実施



山間地の環境にも合う米の品種の試験栽培



昔ながらの手作業で「くい掛け」で風景を守る

28

鳴子の米プロジェクト ～CSA (Community Supported Agriculture) ～



お米は、試験栽培後おいしさが認められ、「ゆきむすび」という名前で新たに品種登録



田植えや稲刈り、消費者と体験交流イベント



終了後に田んぼで生産者と消費者で、ゆきむすびのおにぎりを食べ交流



この取組みをモデルにした、テレビドラマ「お米のなみだ」が全国で放映

29

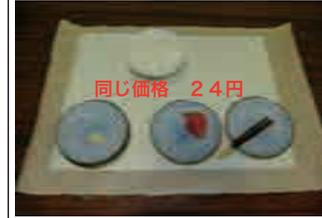
鳴子の米プロジェクト ～CSA (Community Supported Agriculture) ～



新品種「ゆきむすび」は再生産可能な価格で事前予約制で販売



「むすびや」というおにぎり屋で、ゆきむすびのおにぎりを握る、女性スタッフ



茶碗一杯のご飯、かまぼこ14切れ、イチゴ1個、ポッキー3本、これは、共通のものが



東日本大震災で一度壊れたが、お米を予約する消費者の皆さんからのクラウドファンディングにより、「むすびや」が復活し、10種類以上のおむすびを提供



日本農業新聞の元日号一面で、鳴子の米プロジェクトが特集、「米を買い支えて、山間地の農業を守る」「市場の米と比較での大きい価格差は、安心の対価」

30

【自然共生1】田尻 ラムサール条約登録の蕪栗沼と周辺水田



田尻地域には、ラムサール条約に登録された湿地、蕪栗沼がある。実は沼地だけでなく、地域合意に基づき、周辺水田を広く含んだ形での登録。それはラムサール条約では初めてのこと。

ラムサール条約が環境を活かした農業にも、役立つ道具になるという、新しい考えのもとでの登録となった。

31

ふゆみずたんぼ プロジェクト



冬の水田に水を張るプロジェクト「ふゆみずたんぼ」という取り組み実践日の出と共に、渡り鳥が沼を飛び立つ。蕪栗沼には渡り鳥が毎年10万羽以上



冬に蕪栗沼周辺の水田に水を張ることで、渡り鳥のねぐらを分散させるという取組み

32

ふゆみずたんぼ ~渡り鳥と共生する農業の実践~



冬に水を張り、農業や化学肥料を使わないことで、春や夏には、カエルやイトミミズなど多様な生き物が生息し、イトミミズによるトロトロ層ができることで、草も生えにくい状況となる。有機JASの認定も取得し営農を実践

また、地域住民による水田などの生きもの調査などを行い、生物多様性の理解を深めるとともに、渡り鳥を観察するエコツーリズム

まさに、渡り鳥と共生する農業が実践

33

ふゆみずたんぼ ~渡り鳥と共生する農業の実践~



渡り鳥と共生する農業により、ふゆみずたんぼの米、ふゆみずたんぼの酒
持続可能な米や、酒が生まれた

34

【自然共生2】鹿島台 希少な魚シナイモツゴの環境を守る



鹿島台地域では、品井沼というエリアがあり、農業と生き物が共生する取り組みが実践

絶滅したと思われてきた希少淡水魚「シナイモツゴ」が発見され、そこからため池の環境を守る活動がスタート

35

シナイモツゴ郷の米 プロジェクト



これが、希少淡水魚であり、絶滅危惧種の小さい魚「シナイモツゴ」

「シナイモツゴ」を守るため、ため池でブラックバスや、アメリカザリガニの駆除活動

36

シナイモツゴ郷の米 ～希少な魚と共生する農業の実践～



NPO法人
シナイモツゴ郷の会

シナイモツゴが生息する、きれいなため池の水がかかる田んぼの米を、NPO法人が認証する取組み
これがその認証マーク



農業と魚が共生して生まれた米は、「シナイモツゴ郷の米」として、認証マークを付け販売

37

水田農業・実践2 有機農業・グリーン化の推進

大崎市有機農業・グリーン化推進協議会(R4年5月～)

○目的

みどりの食料システム戦略と協調、**グリーンな栽培体系への転換**に資する検証事業に取り組み、世界農業遺産「大崎耕土」で有機農業や環境保全型農業の普及を図る。

○実践内容

平地と中山間地に分け、検証を行う。

- ・ **アイガモロボ**活用による水田の雑草抑制
- ・ **スマホ水管理システム**による水田水位の遠隔管理
- ・ **リモコン草刈機**による畦畔等の除草

38

水田農業・実践2 有機農業・グリーン化の推進



スマホ
水管理システム

アイガモロボ

リモコン草刈機

39

水田農業・実践3 異常気象・頻発する災害への対応

H27年関東東北豪雨, R元年東日本台風など
近年多発する豪雨災害への対策が必要!



40

水田農業・実践3 田んぼダムの推進

水田の持つ雨水貯留能力を最大限活用し、洪水被害を緩和する「田んぼダム」の取組みを推進



～世界農業遺産
現代版
巧みな水管理の実践～



41

水田農業・実践3 田んぼダムの推進

田んぼダム・・・

大雨の際に一時的に田んぼに水を貯め、ゆっくりと排水することで、農地や市街地の洪水被害を軽減する取り組み

田んぼから排水路に水を落とすための落水柵に、元々の落口より小さい口径の「堰板（調整板）」を設置し、田んぼからの排出量を抑制し、排水路の水位の上昇を抑える



42

水田農業・実践3 田んぼダムの推進

R3年6月に大崎市と宮城県が事務局となり、「宮城県田んぼダム実証コンソーシアム」を設立（伊藤大崎市長が会長）、県内での実践と普及を図る



43

水田農業・実践3 田んぼダムの推進

大崎市での実施 R3年度：約310ha実施

R4年度：約780ha実施

R5年度：約980ha実施

【活動状況】

- 田んぼダム堰板の設置
市内の被害が多く、多面的機能支払交付金活動組織の希望のある組織から設置
- 「田んぼダム」の取組地域を拡大するため、普及・啓発用パンフレットを作成、配布
- 小中学校での体験学習・授業の開催
豪雨時の「田んぼダム」の効果を紹介



宮城県・他市町も含め、地域一体での合意形成が重要！



44



SDGs
未来都市
おおさき

大崎耕土
世界農業遺産



人・資源を活かし
持続可能な農業・地域へ！

